

白鳥敏夫 しらとり、外交官。明治二十年六月八日千葉縣茂原生れ、昭和二十四年六月二日没（八八七一九四）。東京帝國大學卒。大正二年外務省入省、昭和五年情報部長、十三年駐劄イタリヤ大使となり、三國同盟締結に盡力。十五年イタリヤ友の會會長に推され、月刊總合誌『イタリヤ』を創刊。十七年衆議院議員。戦後A級戦犯として終身禁錮刑服役中病死。ルーテル派の洗禮を受けバタリスチャン。

著書『國際日本の地位』（昭和十二年一月十七日三省書房）、『戦後の時代』（昭和十六年四月十日第一書房「戦時體制版」）、『大東亞共同宣言』（合著・大日本言論報國會編、昭和十九年四月十五日同盟通信社出版部）、『米國の世界戦略』（合著・大東亞戦争調査會編、昭和十九年五月二十日毎日新聞社）等。